

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / 本科・ICS	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 / 現代文B	Class hours 時間数	4時間/週
----------------------------------	---------------	---------------------------------	-----------	--------------------	-------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	「アイデンティティ」を形成するもの	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	中村桃子『ことばがつくる女と男』 / 中島敦『山月記』（筑摩書房『現代文B』所収）
Unit Description 単元の概要	アイデンティティを形成するうえで重要なファクターとなる言語。そのなかでも「ことば遣い」という言語実践がアイデンティティ形成に大きな影響を与えること、そしてアイデンティティ構築の「自由」と「限界」について考え、自己観の刷新を成し遂げる。そして、自らが考えるアイデンティティと、他者との関係性の中に生まれる自己像との差異における苦悩を、代表的な変身譚である『山月記』を用いて分析する。		

Unit Standards 本単元の内容と評価規準				Others 備考
察	A3	B3 本質主義という「分かりやすい」物語を脱構築し新たな問題を見出させる。	C3 一度形成されたアイデンティティの歴史性を見ることで、新たな在り方への可能性を見出せる。	<評価方法> ・授業参加（ディベート・ディスカッション） ・小テスト ・Classiポートフォリオ <ICT・Creation> ・教材以外のテキストとの関連性の検討（Safari） ・自身の既存知の刷新
好	A2	B2 李徴が考える変身の理由の妥当性を考え、変身によって可能になったことを考える。	C2	
知	A1 ジェンダー論に関する語句や、漢文的な表現法を理解する。	B1 ジェンダーに関する歴史的背景を知り、また一人称の語りの構造を理解する。	C1	
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking	

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / 本科・ICS	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 / 現代文B	Class hours 時間数	4時間/週		
1学期 期末試験 Term 1 Final							
Name of Unit, Project 単元名	言語（記号）が伝えるもの／零れ落ちるもの	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	立川健二『記号論と生のリアリティ』／糸山明子『ベル・エポック』（筑摩書房『現代文B』所収）				
Unit Description 単元の概要	人間が世界を認識するうえで媒介となる「記号」。「生」の感触として受け取るリアリティも「記号」が媒介をしており、そして記号とは「意味の体系」に組み込まれたものであるということを、立川健二のテキストから読み解く。そのなかで、言葉が世界と認識の間を媒介していること、そして記号としての言葉を用いることで意味伝達から零れ落ちるものが存在する、ということを小説の読解を通じて学んでいく。						
Unit Standards 本単元の内容と評価規準				Others 備考			
素	A3	B3 描かれていることと、描かれていないことの双方から、テキストを読み直す。	C3	<評価方法> ・授業参加（ディベート・ディスカッション） ・小テスト ・Classiポートフォリオ <ICT・Creation> ・教材以外のテキストとの関連性の検討（Safari） ・自身の既存知の刷新			
好	A2 「世界」というものが記号によって認識されることを理解する。	B2 「ベル・エポック」という言葉が持つ「意味」について検討し、作品を解釈する。	C2 語られている世界が、視点や語りによって変容することを捉え、世界観の土台を再構築する。				
知	A1	B1 みちかの心情がどのように読み取ることが可能かを理解する。	C1 記号が媒介する認識の可能性と限界を知る。				
Recognition		Logical Thinking	Creative Thinking				

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / 本科・ICS	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 / 現代文B	Class hours 時間数	4時間/週
----------------------------------	---------------	---------------------------------	-----------	--------------------	-------

2学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	「自由」を望むもの/望まないもの	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	杉田敦『権力とは何か』/安部公房『鞆』（筑摩書房『現代文B』所収）
------------------------------	------------------	-------------------------------------	-----------------------------------

Unit Description 単元の概要	我々は社会生活を送る上で、意識的に、あるいは無意識的に、「権力」の存在に生き方を規定されている。「権力」の有する力とその影響力、そして生き方の決定権をどこまで「権力」に委ねるべきかについて、文章を通じて考える。そのうえで、一切の制約から放たれたという意味での「自由」が、自由を意味づけるものからは自由になれない制約があることを、安部公房の小説で学ぶ。
---------------------------	---

Unit Standards 本単元の内容と評価規準			Others 備考
察	A3	B3 権力の存在が人々の生き方にどのような影響を与えるかを理解する。	<評価方法> ・授業参加（ディベート・ディスカッション） ・小テスト ・Classiポートフォリオ <ICT・Creation> ・教材以外のテキストとの関連性の検討（Safari） ・自身の既存知の刷新
好	A2	B2 作品内に内在する矛盾に対して、作品を超えた読みを提示することができる。	
知	A1	B1 鞆という物質が、自由という抽象的な概念を表象する関係を成り立たせている論理を理解する。	
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / 本科・ICS	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 / 現代文B	Class hours 時間数	4時間/週
----------------------------------	---------------	---------------------------------	-----------	--------------------	-------

2学期 期末試験 Term 2 Final

Name of Unit, Project 単元名	人間の行動を規定するもの／合理性で語れないもの	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	細田衛士『資源はなぜ枯渇するのか』／高橋源一郎『ぼくらの民主主義なんだぜ』（『現代文B所収）
------------------------------	-------------------------	-------------------------------------	--

Unit Description 単元の概要	合理的な知を備えたとされる現代の人々だが、それが集団となった時の行動においては、必ずしも個人にとっての最適解を合理的に導くわけではなく、むしろ不合理とも見える行動がしばしば起こされてしまう。ゲーム理論という切り口から資源と環境問題を考えたのち、民主主義というシステムの正当性を根本から問い直す。
---------------------------	---

Unit Standards 本単元の内容と評価規準			Others 備考
察	A3 民主主義についての問題を、民主主義の規範にのっとって伝えることができる。	B3 資源問題という現代の社会がおかれているコンテキストに注目して、テキストを分析できる。	C3
好	A2 社会科学で用いられる語彙を適切に利用できる。	B2	C2 他者との対話自体が、民主主義をめぐる問題の解そのものになりえることを意識する。
知	A1	B1	C1 自分たちが向き合わなくてはいけない問題を明確に示せる。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking

- <評価方法>
- ・授業参加（ディベート・ディスカッション）
 - ・小テスト
 - ・Classiポートフォリオ
- <ICT・Creation>
- ・教材以外のテキストとの関連性の検討（Safari）
 - ・自身の既存知の刷新

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / 本科・ICS	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 / 現代文B	Class hours 時間数	4時間/週		
3学期 期末試験 Term 3 Final							
Name of Unit, Project 単元名	ひとの「こころ」に巣食うもの		Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	夏目漱石『こころ』（筑摩書房『現代文B』所収）			
Unit Description 単元の概要	近代に生きる知識人の宿命として「さびしさ」を背負い続けた「こころ」の「先生」。ゲマインシャフトから放逐された近代知識人が、独り向き合う己から浮かび上がった他者性を、とことん抉り出したこの作品を読むことで、自らを省みる強靱な言葉と思考力を鍛えていく。加えて「小説」というジャンルのもつ社会的な役割についても確認する。						
Unit Standards 本単元の内容と評価規準				Others 備考			
楽	A3	B3 先生やKの決断に対して、語られていない点に疑問をもち、問題提起を行う。	C3 人はどのようにして己を保ち続けられるのかを考えつつ、己のなかの他者との会話を深める。	<評価方法> ・授業参加（ディベート・ディスカッション） ・小テスト ・Classiポートフォリオ <ICT・Creation> ・教材以外のテキストとの関連性の検討（Safari） ・自身の既存知の刷新			
好	A2	B2 「私」がどのような意図をもって「K」に語り、それをどのように「遺書」の中で語っているかを読み解く。	C2 広く深い多様な解釈に耳を傾け、作品を読むために必要となる経験の幅を意識する。				
知	A1 近代という時代の意味を近代文学から考える。	B1	C1				
Recognition		Logical Thinking	Creative Thinking				